

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第2回上田市国民健康保険運営協議会 |
| 2 | 日時 | 令和7年1月16日(木) 午後1時30分から午後2時45分まで |
| 3 | 会場 | 上田市役所3階301・302会議室 |
| 4 | 出席者 | 小林芳夫会長、新田さやか副会長、降旗次男委員、飯島久子委員、宮下暢夫委員、
斉藤拓康委員、高見澤勇委員、合葉雅彦委員、前田浩史委員、片山宏規議員、
内川佳子委員、遠藤のり子委員、西澤初江委員、横澤幸江委員、清住洋子委員 |
| 5 | 市側出席者 | 土屋市長、室賀健康こども未来部長、柳澤収納管理課長、
坂口国保年金課長、小林保健予防担当係長、小澤国保年金課課長補佐、
川俣国民健康保険担当係長、佐口保健事業係長、笠井国民健康保険担当主任、
竹内国民健康保険担当主事 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 |
| 7 | 傍聴者 | 1名 記者 2名 |
| 8 | 会議録作成年月日 | 令和7年1月23日 |

協議事項等

- | | |
|---|--|
| 1 | 開会(事務局) |
| 2 | あいさつ(副市長) |
| 3 | 諮問(副市長) |
| 4 | 会議録署名人の指名
小林会長から、遠藤委員と西澤委員の2名を会議録署名人に指名 |
| 5 | 議事
(1) 諮問内容の説明(事務局:資料により説明)
(2) 質疑等
委員: 県が示す事業費納付金は、被保険者の所得が低いと算定額が低くなるのでしょうか。
事務局: 県が納付金を算定するにあたって、所得の割合が県内全体の中でどのくらいあるかが根拠の一つになっております。例えば所得が多い市町村については、比較的納付金が多く加算されている傾向にあり、上田市の場合、所得の部分については比較的低い金額となっております。
委員: 物価高騰の中、現状維持が示されたことについてはほっとしています。ちなみに、上田市国保の応能負担と応益負担はどういう割合でしょうか。
事務局: 令和7年度据え置きとした場合の応能割分が約54%、応益割分が約46%になっております。
委員: 資料によると今後も令和8年、10年と段階的に改定していく予定ということですが、2年に1回税率を上げる場合、毎年改定する場合と比べて税率の上昇分が上がるのではないのでしょうか。ならして毎年少しずつ上げていくという考え方もあるのでしょうか。
事務局: あくまで理想的な推移ということでお示ししております。毎年あげるか、隔年で上げるかということについては、引き続き協議会の方でご審議いただいたうえで、決めていきたいと考えております。
委員: 医療費がかかる原因は、一般的に、人口の高齢化があげられますが、近年は医療技術の進歩だと言われています。医療費を押し上げている原因が医療の進歩であれば、それを止めるわけにはいきません。そのあたりを社会的にどう考えるかっていうことが一つあると思います。
委員: 上田の国保の今後を考えたときに、現状よりも負担が大きくなるというのは確実です。そのため |

の税率改定が2年に1回か、1年に1回かという意見が出ましたが、毎年上げていくと、市民の皆さんの負担が大きくなるのではないと考えます。

(質問終了)

会 長：諮問の内容に関して、事務局案を承認してよろしいですか。

(賛成多数で議決)

会 長：答申書についても、私と事務局の方で纏めてよろしいですか。

(賛成多数で議決)

6 その他

(1) 今後の日程についての説明 (事務局：資料により説明)

- ・ 審議終了により次回会議は開催しない

7 閉会 (事務局)